

地域貢献

事業活動を通して培った「人」と「技術」を活用して、世界の各地域で一人でも多くの社員が参加し、地域の課題解決に貢献することを活動の基本方針としています。



フィリピン富士電機社の植樹活動

重点テーマと2014年度の主な取り組み

- ▶ 次世代育成支援
 - ・小中高校生向け理科教室
 - ・教員向け企業研修、理科実技研修
- ▶ 自然環境保護
 - ・森林保全活動、農地再生活動
 - ・清掃活動
- ▶ 東日本大震災被災地復興支援
 - ・福島県物産購入支援

事例紹介

次世代育成支援「教員の民間企業研修」

企業での体験を子どもの育成に役立てていただく

当社では理科離れ対策として、子どもたちを対象とした理科教室のほかに、教員向けにも研修を実施しています。

その一つとして、(一財)経済広報センター*が実施している「教員の民間企業研修」の受け入れをしています。8回目となる2014年度は、事業所近隣の東京都日野市の小・中学校教員の10年目研修として、24名に参加していただきました。富士電機のCSRの説明や障がい者が働く現場の見学、さらに自動販売機の分解などを通して、企業の社会に対する取り組み、品質改善やコスト低減の工夫などを学んでいただきました。ものづくりに対する熱意や社会の役に立つことの大切さ

など、研修で学び、感じたことを授業で活かしていただくことを期待しています。

* 経済界の考えや企業活動について国内外に広く発信するとともに、社会の声を経済界や企業にフィードバックしている組織



自動販売機の分解



組立ライン模擬体験

事例紹介

東日本大震災被災地復興支援「福島県物産購入支援」

福島県物産購入などで継続支援

事業でのつながりの深い福島県がいまだに風評被害に苦しんでいることから、継続的な支援として、2013年度より福島県物産購入に取り組んでいます。工場内食堂での食材活用をはじめ、工場祭で近隣の方々や社員に農産物や加工品を販売しています。2014年度は福島県東京事務所と連携をとり、実施内容の拡大を図りました。いわき市の方に直接販売をしていただいたり、販売品に海産物などを加えて、福島県のさまざまな食材を紹介することができました。また物産販売会の回数を増やし、より多くの社員に復興支援の大切さを認識してもらう機会を作ることができ、社員からは「福島県を応援

できて嬉しい]などの声が聞かれました。今後も多くの事業所で販売会の実施や県産物の活用をし、支援活動を続けていきます。



工場祭での販売



物産販売会の様子

心から人々の助けになりたいと思っています

半導体やディスク媒体の生産を行っているマレーシア富士電機社では、地域社会への支援活動と環境保全活動によって社員にボランティア精神を浸透させることを目指して、会社主導でチームを結成し、地域貢献活動に取り組んでいます。



■ マレーシア富士電機社の地域貢献活動



生産部門マネージャー
エフェンディ

「助けを求めている人に手を差し伸べるのは、食べることと同じように自然に必要なこと。それは私自身を幸せな気持ちにしてくれます」そう語るのは生産部門マネージャーのエフェンディ。地域貢献活動を始めて10年になる。

マレーシア富士電機社では毎年、社内公募で地域貢献チームのメンバーを決定、現在は15名の社員が活動に参加している。

「どんなプログラムでも、地域の人々の気持ちを最優先に取り組んでいます」(エフェンディ)

地域貢献チームが計画・企画し、貧しい人々への慰問や近隣学校への出前授業、被災地支援および環境保全啓発推進活動など、さまざまな活動を行っている。普段は地域貢献チームのメンバーが行うが、チームの目標は社員にボランティア精神を浸透させること。環境保全活動や寄付などは全社員に参加を呼びかけることもあり、社員に活動の機会を提供している。2014年度は2カ月に1度という活動の多さだ。



原住民集落への支援



老人ホームの訪問

■ タマン・リア小学校の訪問

2014年6月12日 地域貢献チームのメンバー8名は、会社から15キロ離れたケダ州クリム地区のタマン・リア小学校へ出前授業に向かった。「公的な支援が届きにくい地域の学校を訪問したい」メンバー全員一致の決定だった。当日は、6年生 約100名が参加した。



授業で実施したゲーム

授業では10枚のダンボールと発砲スチロールのコップを使ったゲームを実施。最も少ないコップで高く、強く積み上げたチームが勝ちだ。科学や技術の基本を伝えて、子どもたちの興味を刺激することが目的だった。

「子どもたちが生き生きとした前向きな目になってくるのを感じました」(プロセス開発技術者シャキア) 生徒たちが特に目を輝かせたのは、開発エンジニア カイルの日本での研究経験談だ。



プロセス開発技術者
シャキア

「終わった後、子どもたちが私たちの連絡先を聞きにきてくれました。もっと話が聞きたいと感じていることがわかりました」 シャキアは子どもたちの反応に活動の手応えを感じた。



出前授業の様子



「出前授業に当校を選んでくれて、とても感謝しています。皆さんの勉強の体験談や、科学や技術の基本を学ぶゲームは、これから行われる学力テストのいい励みになりました。今後もまた交流できるとありがたいと思っています」と同小学校のアヌア校長先生からお言葉をいただいた。



アヌア校長先生(右)

■ 今後について

「私たちの地域貢献活動によって、さまざまな人々を元気にしてあげたいと思っています」(シャキア)

マレーシア富士電機社では、今後も地域社会への貢献や環境保全活動を継続していく計画だ。